

☆ (R6,2,5 更新)朝陽小学校保健室内に棚、ソファを作製、設置しました。(R6,2,2)

岸和田の学校校務員は、業務内容で管理・営繕に関する業務という業務項目があり、日々校内を回って点検・補修・整備を行っています。そしてときには物品等を作製することもあります。

今回の校務員通信では、その物品作製で保健室内に棚、ソファを作製しましたので紹介いたします。

1. 棚



棚となる材料は下記のとおりです。

- ・主となる材料の木材は、図工室天板作成のときにいただいた MDF の余り材を使用しています。
- ・扉の透明の板は新型コロナ感染予防で使用していたアクリル板を利用しました。



完成品：清潔感を出すために白色の水性ペンキを塗装しています



2. ソファ



ソファの材料は下記のとおりです。
主となる材料の木材は、図工室の古い天板(ナラという木)を使用しました。



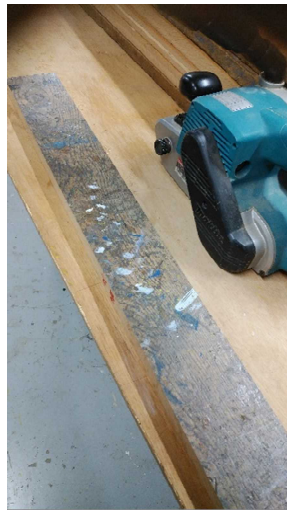
古い天板(古材)を使用して物品作製する場合、一番大変なのが異物(くぎ、ねじ等)の除去です。これらを取り除かないと加工途中で工具を痛めてしまうばかりか、完成品を使用中にケガをする恐れもあります。

そこで、①大まかに材料切断後、②③④電動工具のベルトサンダーという工具で表面を削り、異物を調べます。

①



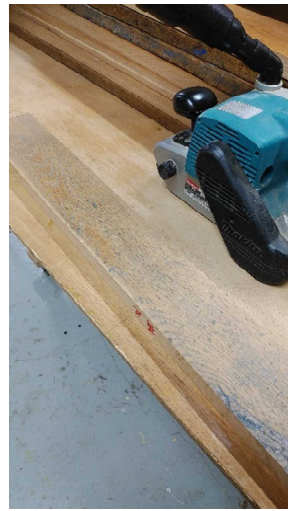
②



③



④



くぎ等を見つけるとその周囲をカッターナイフ等で掘り、ペンチで引き抜きます。



組み立ての工法には、海外の家具でよくみられる工法を取り入れています。

① 接合部分両方に穴をあけて接着剤を塗り込み、②③その穴にちょうどサイズの木片を入れて接合するという工法です。

①



②



③

仮組したもの



完成品：亜麻仁油ベースの自然系塗料を塗り込みました



このような物品を作製する場合は、仕上りの見た目・使いやすさ・安全面、耐久性、耐候性、費用等を考えて作製しています。